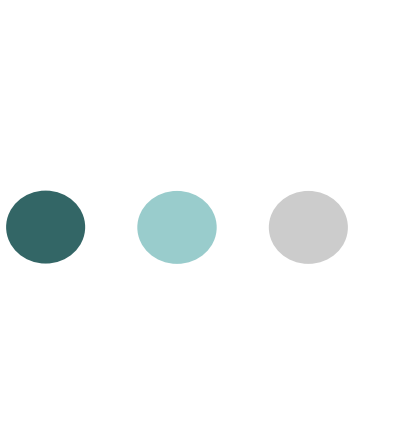
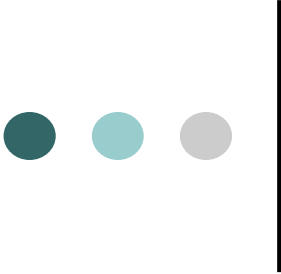




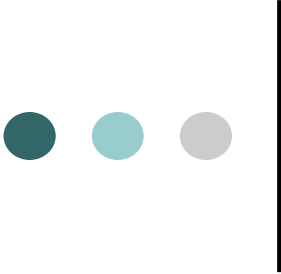
早稲田大学大学院 文学研究科人文科学専攻 心理学コース

2024年度 文学研究科進学説明会
コース別説明会



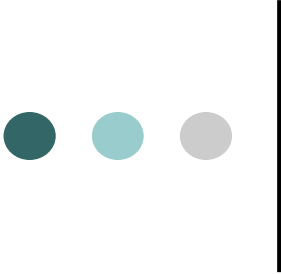
目次

- 田中先生からのご挨拶
- 心理学コース紹介
- 教員紹介
- 設備紹介
- 過去の修士論文題目紹介
- カリキュラム紹介
- 公認心理師について
- 進路・入試データ紹介
- 質問の受付



文学研究科 心理学コース

- 基礎から応用までカバーする充実した専門領域をもつ。複雑かつ変動的な現代社会に立ち現れる諸問題を実践的に解決し、実社会に貢献できる高度専門家の育成を目指している。
 - ◆ 専任教員数：教授10名、准教授2名、助手助教2名
 - ◆ 大学院生数：修士課程50名、博士課程18名
- ※2024年度現在の人数

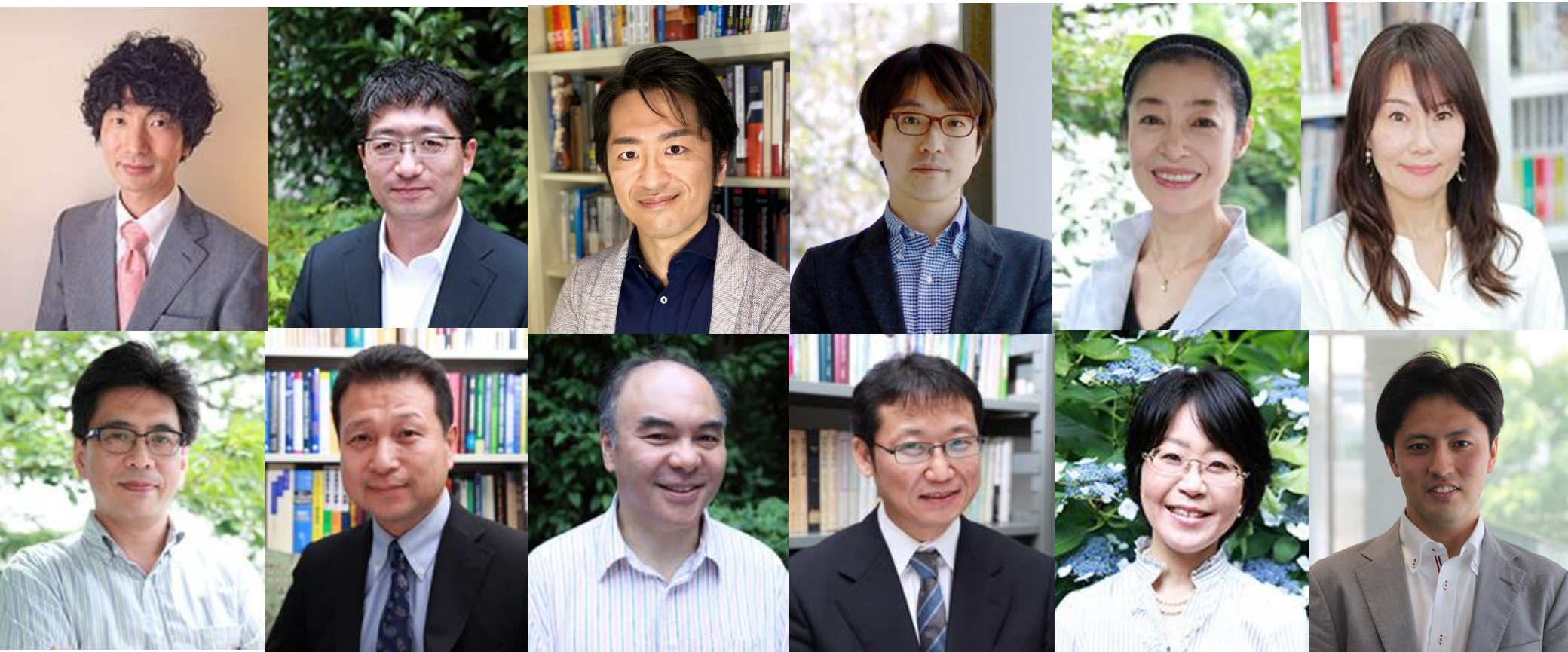


文学研究科 心理学コース

- 発達心理学
- 乳幼児心理学
- パーソナリティ心理学
- 学習心理学
- 比較心理学
- 行動神経科学
- 行動薬理学
- 臨床心理学
- 音楽心理学
- 社会心理学
- 行動意思決定論
- 経済心理学
- 心理統計学
- 教育測定学
- 言語心理学
- 認知心理学
- 健康心理学
- 進化心理学
- 老年心理学
- 神経心理学
- 認知神経心理学
- 神経科学
- 非行臨床
- 犯罪心理学
- 身体心理学
- 生理心理学
- 感性心理学

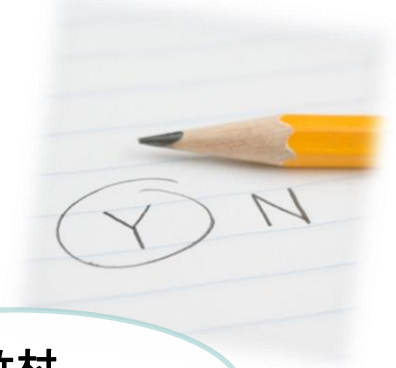
多様な分野の教授陣

- みなさんの興味に応える教授陣
- 深くキメ細かい学びを実現



Perception
Cognitive neuroscience

実験



神前
学習心理学

田中
神経美学

日野
言語心理学

竹村
社会心理学

片平
感性心理学

越川
臨床心理学

豊田
心理統計学

基礎

応用

清水
発達心理学

福川
健康心理学

宮田
身体心理学

小塩
パーソナリティ
心理学

藤野
犯罪心理学

観察・調査

Statistics
Data analysis

Crime and
delinquency



神経美学, 動物心理学 知覚・認知心理学



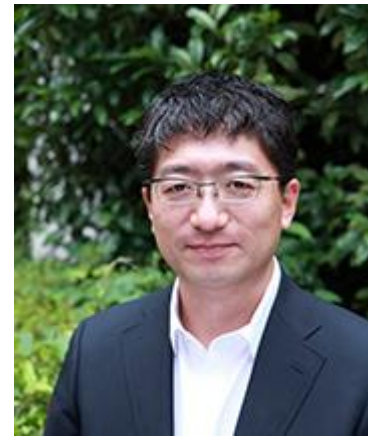
○ 田中 雅史 准教授 (masashitanaka@waseda.jp)

- 好みが生まれて変化する脳のメカニズムを研究
- 音楽など抽象的な刺激がもつ魅力や不思議な効能を調べる
- 歌鳥のさえずりがもつ魅力や機能を調べる
- 鳥や人が、歌や音楽に対して示す神経生理応答を記録・比較

2020年4月に始まった研究室です

お気軽にメールなどでお問い合わせください

発達心理学, パーソナリティ心理学



○ 小塩 真司 教授 (oshio.at@waseda.jp)

- 心理的個人差の内容や構造, またその発達プロセス
- 自己愛傾向, レジリエンス, 自尊感情, サイコパシー, 二分法的思考などの様々なパーソナリティに関する研究
- 測定方法の開発(質問紙)
- 対人関係や社会における適応・不適応

研究室ホームページ: <https://oshio.w.waseda.jp>

感性心理学, 生理心理学 感性工学



○ 片平 建史 准教授 (katahira@waseda.jp)

- 事物に対して直感的に働く「感性」の心理学的研究
- 芸術作品や工業製品・サービスに触れたときの心理的・生理学的プロセスの定量化
- 感性的経験の形成メカニズムの検討
- 感性工学への発展を見据えた応用的研究も重視

※2021年4月に開設された研究室です。

学習心理学, 比較心理学, 行動神経科学, 行動薬理学



○ 神前 裕 教授 (yutaka.kosaki@waseda.jp)

- ラットやマウスなどの動物を対象とした実験的研究
- 主に条件づけの研究を通じて, 意図的・合理的な判断, 情動, 無意識的な認知形成など, 個体の認知・行動の変容をもたらす学習メカニズムの解明を目指す
- 学習理論・神経科学・薬理学の融合アプローチ
- 薬物依存, うつ病, 自閉スペクトラム障害, 不安障害など精神疾患・行動障害のメカニズム解明にも迫る

過去に指導した学生の論文題目の例

- ラットにおける目的的行動と習慣の消去を担う神経基盤の検討
- マウスにおけるニコチンおよびメタンフェタミンの投与と退薬症状によるギャンブル様行動の変化
- 早期母子分離がラットの共感性発達へ及ぼす影響

臨床・音楽心理学, パーソナリティ心理学



○越川 房子 教授 (kfusako@waseda.jp)

- 認知行動療法に関する基礎的研究
- マインドフルネス療法, 抑うつ・不安の軽減
- 音楽が感情・認知機能に与える影響

過去に指導した学生の論文題目の例

- 心配に対するマインドフルネス呼吸法の効果の検討
- 母親の不安にマインドフルネスが与える影響の検討—理想と現実の差異に着目して—

発達心理学, 文化心理学



○ 清水 由紀 教授 (shimizu.yuki@waseda.jp)

- 乳児期から児童期における他者理解の発達とその文化差
- 親子のコミュニケーションが道徳性の発達に与える影響
- 視線や脳波を指標とした, 成人における自動的な対人認知のメカニズムの検討
- 他者の表情認知に関する比較文化研究

※2020年4月に立ち上がった研究室です。

研究室ホームページ: <https://sites.google.com/view/yukishimizu>

社会心理学, 経済心理学, 行動的意思決定論



○ 竹村 和久 教授 (kazupsy@waseda.jp)

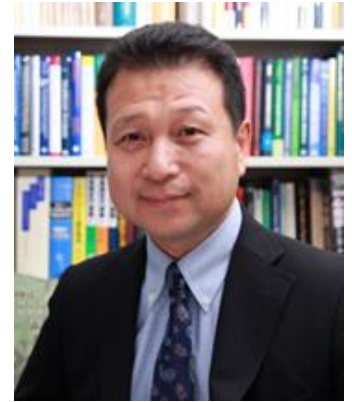
- 意思決定のプロセスの研究
- 消費者の購買意思決定の調査, マーケティングへの応用, アイカメラを用いた意思決定過程の実験研究
- 意思決定の数理モデルの構築

過去に指導した学生の論文題目の例

- 多属性意思決定における意思決定方略の認知的処理の検討
- 曖昧性を考慮した消費者の選好分析
- 潜在意味解析による消費者の意思決定フレーム解析

研究室ホームページ: <https://sites.google.com/view/sem-takemura/>

心理統計学, 教育測定学, マーケティングサイエンス



○ 豊田 秀樹 教授 (toyoda@waseda.jp)

- データ解析の手法
- 数理的な側面からこころを測るための方法論の研究
- 心理統計学・実験計画法・教育測定学・社会調査法・マーケティングリサーチ

過去に指導した学生の論文題目の例

- 再来店までの日数を幾何分布で表現した項目反応理論による顧客ロイヤリティ測定法
- ランダムフォレストとゼロ過剰ポアソンモデルを利用したID-POSデータの分析

研究室ホームページ: <https://sem-toyoda-lab.w.waseda.jp/>

言語心理学, 認知心理学



○ 日野 泰志 教授 (hino@waseda.jp)

- 言語処理のメカニズム(視覚的単語認知)
- 文字や単語を読むとき、どのような処理が行われているか
- 多義語と一義語の読み, 同音意義語に関する研究, バイリンガルの語彙処理

過去に指導した学生の論文題目の例

- 日本語の漢字・仮名表記語における形態・音韻・意味間の対応関係の性質
- 意味的プライミング課題における形態隣接語の意味活性化単語の出現頻度効果

健康心理学, 進化心理学, 老年心理学



○ 福川 康之 教授 (fukukawa@waseda.jp)

- ストレスマネジメント・生活習慣改善などの健康維持方略に関する研究
- 進化理論にもとづく「心の適応的デザイン」に関する研究
- 高齢者・高齢社会に関する研究

過去に指導した学生の論文題目の例

- ストレス状況下における視覚刺激認知の性差に関する考察
- 大学生の食物選択が健康に与える影響について
- 高齢リウマチ患者の精神的健康に影響を与える要因
- 死への恐怖が大学生における高齢者偏見に及ぼす影響の検討

臨床・非行心理学



○ 藤野 京子 教授 (fujino@waseda.jp)

- 非行など青少年の社会適応の諸問題
- その原因や理解・効果的な援助のあり方
- 社会・環境要因の影響を視野に入れた臨床心理学的アプローチ

過去に指導した学生の論文題目の例

- いじめ場面での第3者に対する親密性・状況規範の影響について
- 『道徳発達段階測定尺度』の作成および信頼性・妥当性の検討
- 情動知能(特性EI)がコーピングに与える影響に関する検討

研究室ホームページ: <https://fujino.w.waseda.jp/>

身体心理学, ソマティック心理学, 東洋的心身論



○ 宮田 裕光 教授 (miyata@waseda.jp)

- 心身の関係と統合についての実験・調査研究
- 東洋的な実践～ヨーガ・瞑想、武道、仏教、整体・東洋医学、伝統芸能など～による心身変容とその心理・行動・生理的機序
- 行動計画、問題解決、洞察、無意識的処理などの高次認知に関わる実験的研究

過去に指導した学生の論文題目の例

- 身体醜形懸念とマインドフルネスに関する心理学的研究
- 東洋的心身修養が食行動および心理的健康におよぼす影響
- アーユルヴェーダのトリドーシャ理論とヨーガアーサナに関する心理学的研究

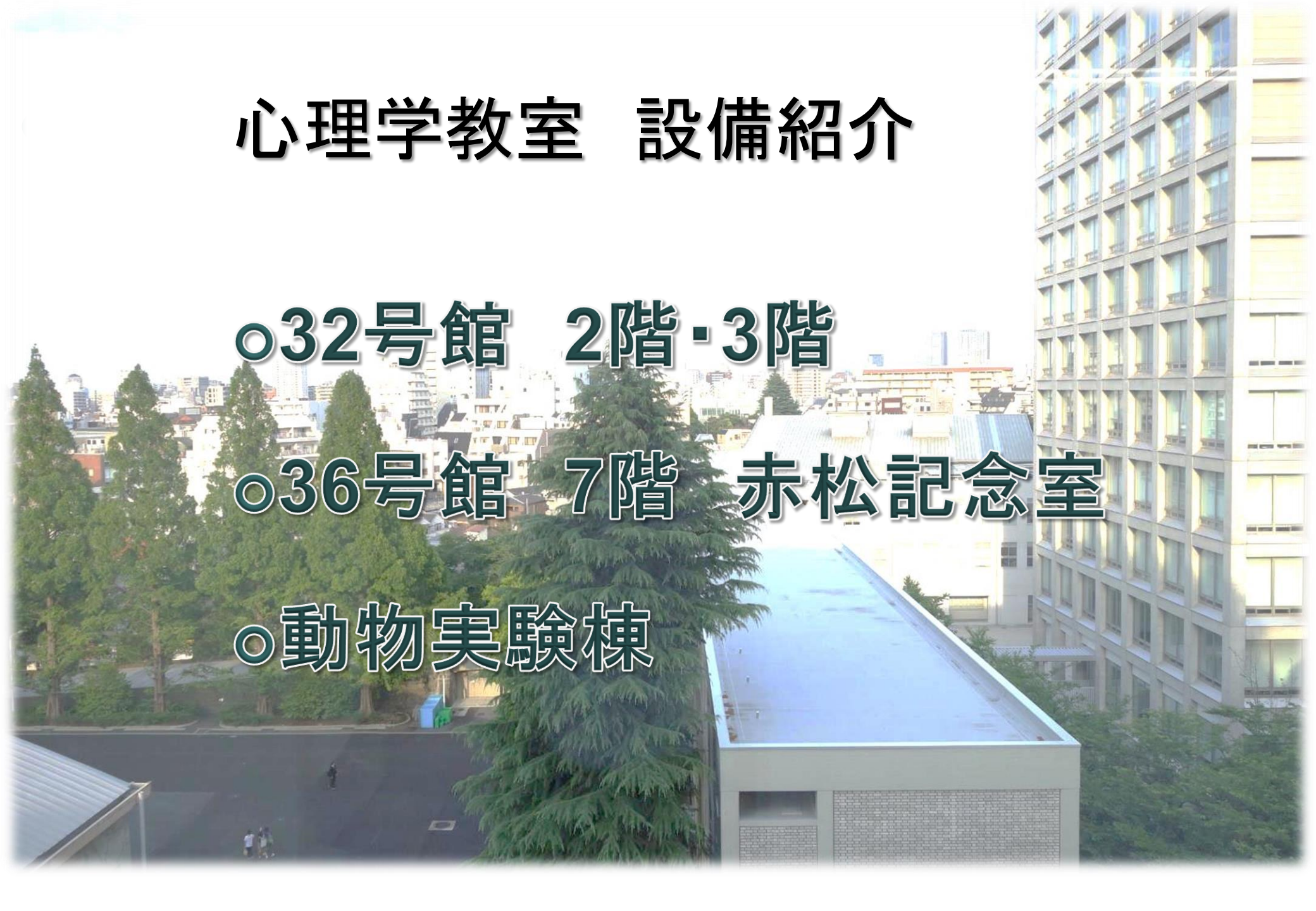
研究室ホームページ: <https://miyata-lab.labby.jp/>

心理学教室 設備紹介

○32号館 2階・3階

○36号館 7階 赤松記念室

○動物実験棟



32号館



入口



32号館



心理学教室・事務室



ジャーナルルーム (和書・洋書・雑誌・洋雑誌)



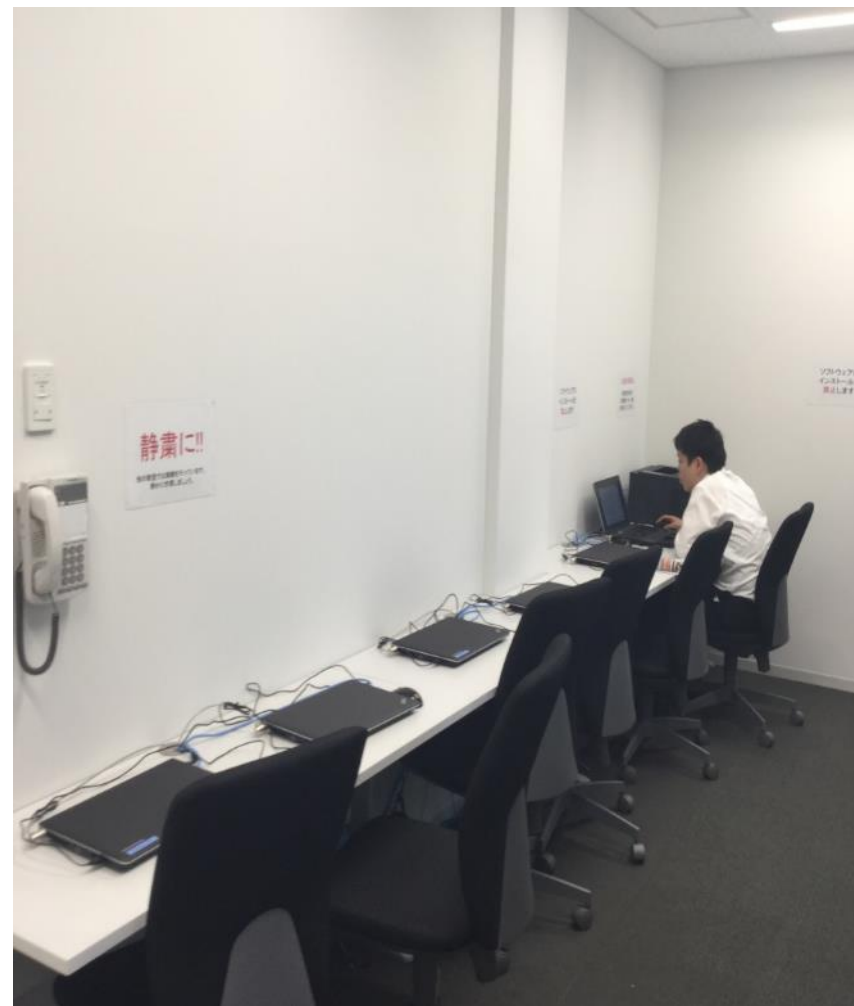
電子ジャーナル

- ・早稲田大学契約のジャーナル
- ・EBSCO系データベース: PsycINFO, PsycARTICLES, ERIC, MEDLINE, GreenFILE, Teacher Reference Center

32号館



PCルーム



32号館



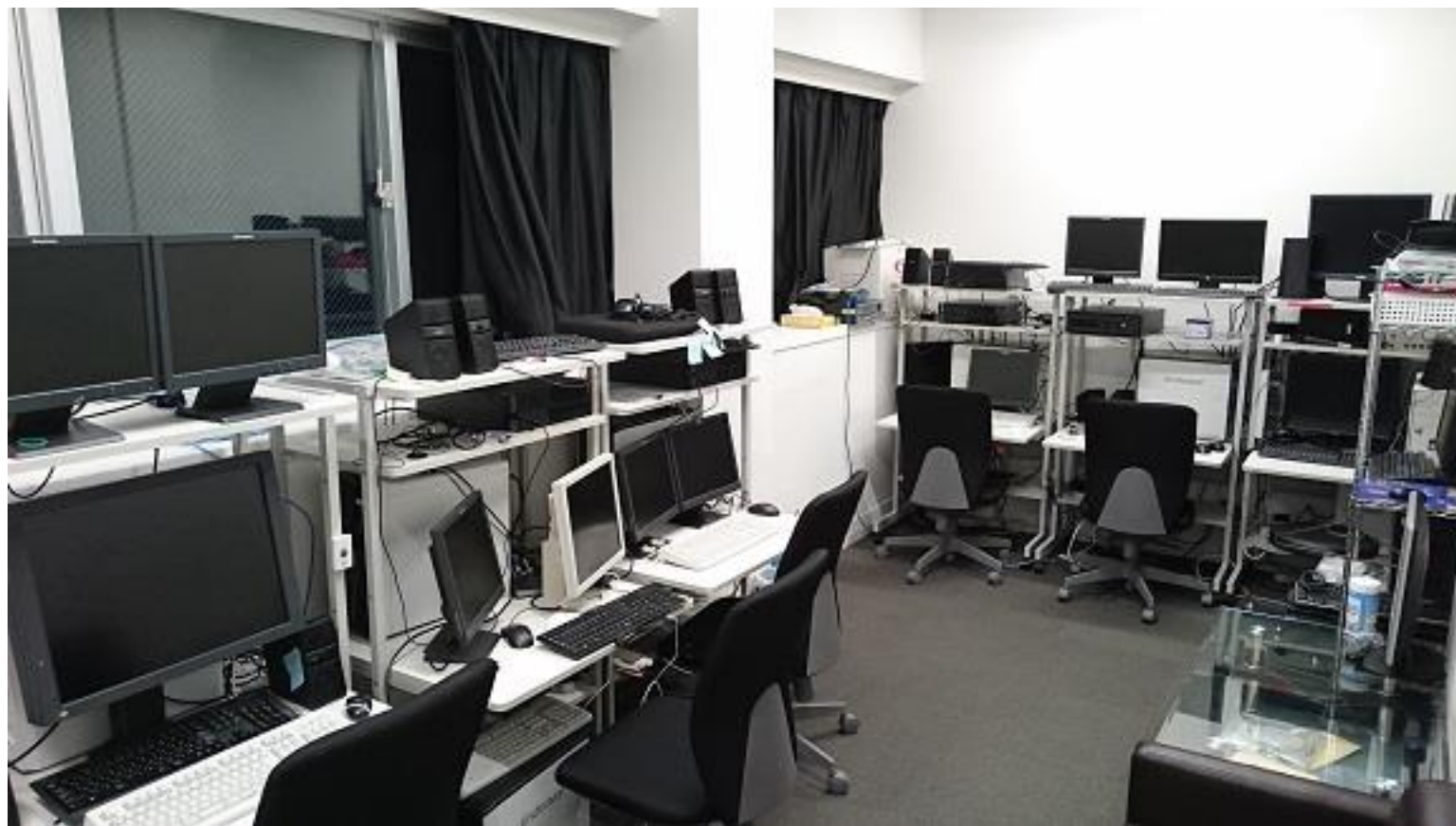
実験用ブース



32号館



コントロールルーム



32号館

ERP実験室



32号館



面接用実験室



32号館



実験室兼演習室



36号館



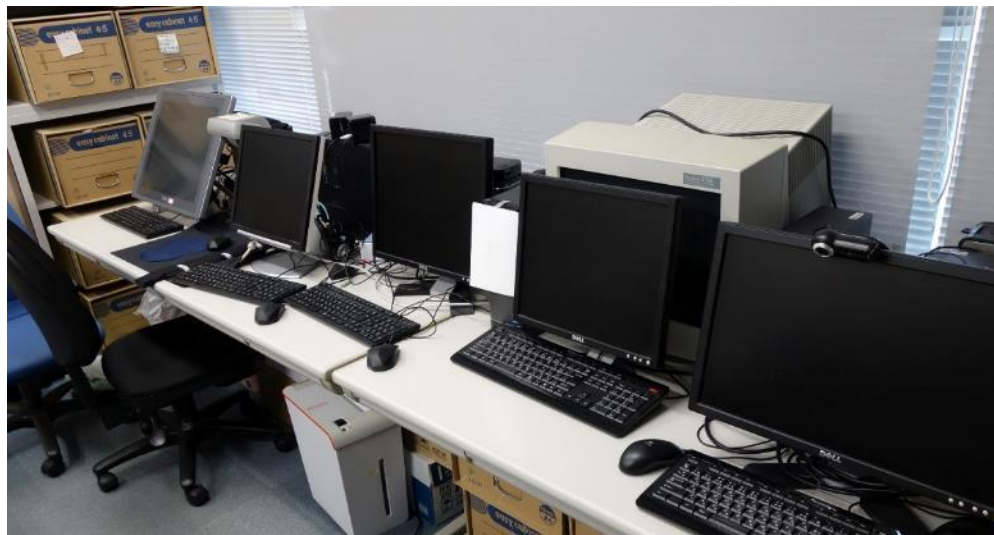
赤松記念室 7・8(防音室)



36号館



赤松記念室設備



赤松記念室設備



$$f(x_i) = \sum \pi_k g_k(x_i)$$

$$\log f(x_i) = \log \sum_k \pi_k g_k(x_i)$$

k=1
2



赤松記念室設備



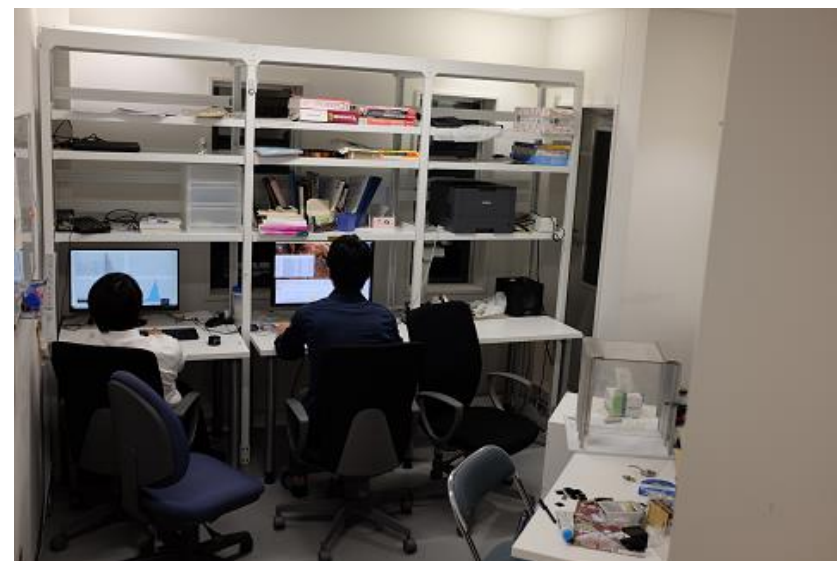
36号館



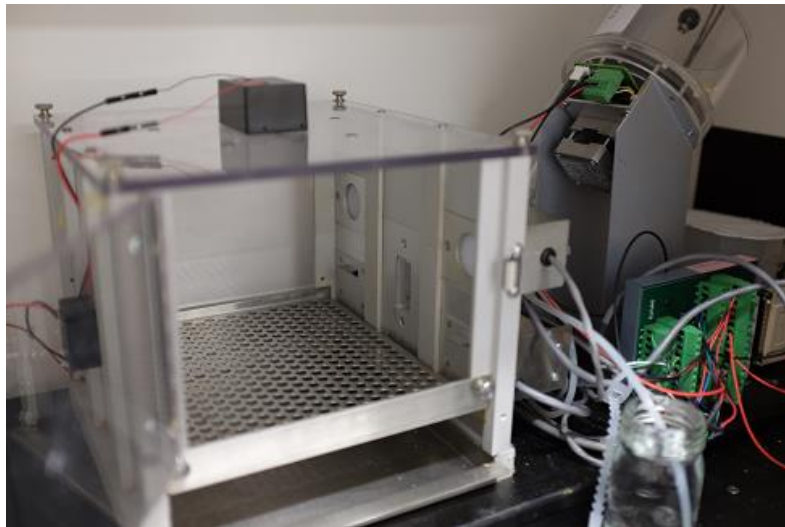
プレイルーム



動物実験棟



動物実験棟



2023年度修士論文題目

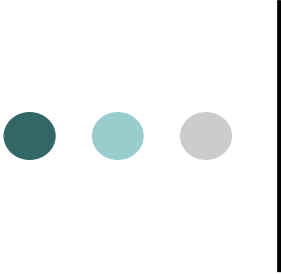
- ゲーム依存の概念に関する研究(小塩)
- 気象感受性尺度の作成(小塩)
- 食物選択における価値観の検討(小塩)
- 抽象的な視覚刺激による性格特性の推測(豊田)
- 世代間伝達によって変容するキンカチョウの歌分析(田中)
- Event representations over temporal gap(神前)
- 身体醜形概念とマインドフルネスに関する心理学的研究(宮田)
- Cultural differences in the perception of dynamic facial expressions between Japan and China: Eye-tracking evidence(清水)
- 東洋的心身修養が食行動および心理的健康に及ぼす影響(宮田)
- リード者の印象がマインドフルネス瞑想の効果に及ぼす影響の検討(越川)
- 親の文化的認知スタイルが子どもについての語りに及ぼす影響(清水)
- ラベリングと感覚集中が瞑想の効果に及ぼす影響(越川)
- 学生の就職活動の動機づけについての検討(藤野)
- 瞑想教示の違いが効果に及ぼす影響(越川)
- 怒りの感情価格を持つ音楽が不快感情および行動にもたらす効果の検討(藤野)
- 消費者の意思決定の研究(竹村)

2022年度修士論文題目

- ナッジの活用による健康行動の変容可能性の検討 (福川)
- 乳児の情動表出に対する気質と母親の敏感性の影響— Still-Face実験による検討— (清水)
- 野球の作戦における効果の統計的因果推論を用いた検討 (豊田)
- 過剰適応に完全主義と視点別意識が与える影響— 自己意識、他者意識、他者から見た自己に対する意識の観点から— (藤野)
- The relationship between adult attachment orientation and sensitivity to the changes in facial expressions: An eye-tracking study (清水)
- Personality Prediction on Twitter: Based on impressions of the Timeline (小塩)
- アーユルヴェーダのトリドーシャ理論とヨーガアーサナに関する心理学的研究 (宮田)
- マッチングアプリ利用の背景にある心理的要因—リスクテイキングの観点から— (藤野)
- 気分状態が表情認識に与える影響 (藤野)
- 異性装が社会で許容される度合いの性差 (豊田)
- パズル課題を用いた社会的認知の研究 (竹村)

2021年度修士論文題目

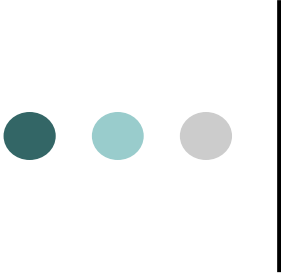
- Timing and value of instrumental outcome: an examination of potential dissociation with the peak procedure (神前)
- 同性愛に対する態度が形成されるプロセスの検討—内在化に注目して— (越川)
- 内面化されたジェンダー規範が、マインドフルネスに及ぼす影響—セルフ・コンパッション、マインドフルネス、男らしさとの関連— (越川)
- 過干渉的養育認知尺度の作成 (越川)
- マインドフルネス実践を促進する方法の検討—マインドフルネス教示を用いて— (越川)
- 第二次反抗期の様相と愛着スタイル傾向の関連 (越川)
- 共分散構造分析とトピックモデルによる消費者ファッションデータの分析 (豊田)
- 事象関連電位を用いた漢字語を読む際の意味符号化経路の検討 (日野)
- 道徳基盤理論と主観的量刑判断の関連の検討 (藤野)
- 犯罪者認知についての解釈レベル理論に基づく検討社会的距離に焦点を当てて (藤野)
- 情動知能が社交不安傾向に与える影響—下位因子に基づくプロフィールからの検討— (藤野)
- 居住地域の特徴とパーソナリティ特性との関連—主観的居住地認識尺度の作成を通じて— (小塩)
- 未来結果熟慮傾向の肯定面と否定面—般的攻撃モデルに着目して— (小塩)



文学研究科心理学コースカリキュラム

- 研究指導(学位論文の指導)
- 心理学演習(ゼミ)
- 心理学研究(専任教員による専門的内容)
- 心理学特論(非常勤講師による専門的内容)
- 講義
 - 精神病理学
 - 数理モデル 等

以下から2024年度の心理学コース大学院のカリキュラムが確認できます
<https://www.wasedapsychology.jp/kamoku.html>



公認心理師について

- 文学研究科と教育学研究科の設置科目を履修することで、公認心理師の受験資格を取得できます。

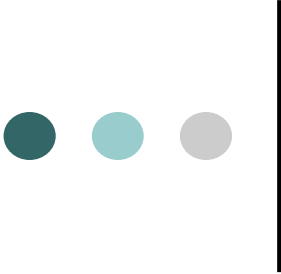
- 早稲田大学公認心理師コンソーシアム

<https://sites.google.com/view/wkouninshinrishiconsortium>

- 公認心理師の大学院カリキュラム(2024年度版)

<https://drive.google.com/file/d/1LP6XUNyEp0bvBXpSyXgTGvEYfvETe8pY/view>

※計画的な履修が極めて重要になります。



進路

◆修士課程

博士後期課程進学, 企業, 臨床現場, 公務員, 研究所

過去の就職先の例

- 日本放送協会(NHK)
- 小学館集英社プロダクション
- 日経リサーチ・インテージ
- 構造計画研究所
- 鈴与

過去の進学先の例

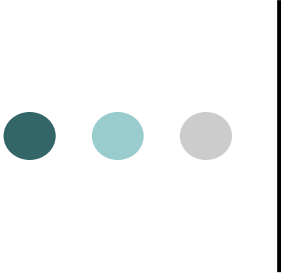
- 早稲田大学大学院
- 東京大学大学院

◆博士課程

大学教員, 研究機関

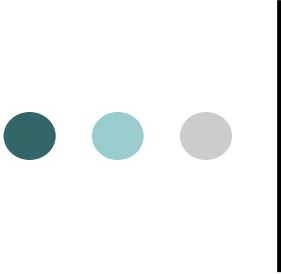
過去の就職先の例

- 立教大学
- 京都大学
- 埼玉学園大学
- 東京家政大学
- 明治学院大学
- 早稲田大学
- 日本語能力試験センター
- 鉄道総合技術研究所
- 国際経済労働研究所 その他



2023年度入試データ (心理学コース)

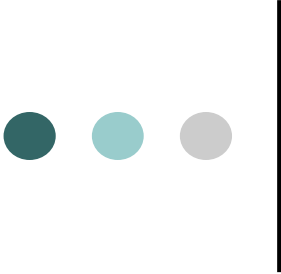
- 修士課程一般入試(合格率85%)
 - 一次受験者:20名
 - 二次受験者:20名
 - 二次合格者:17名
- 博士課程(合格率100%)
 - 一次受験者:1名
 - 二次受験者:1名
 - 二次合格者:1名



参考URL

- 出願の前に、必ず希望する指導教員にアポイントメントを取り、相談するようにしてください。
- 心理学コース専任教員のメールアドレスは、以下のURLに掲載されています。

<https://www.wasedapsychology.jp/teacher.html>



参考URL

- 早稲田大学文学学術院心理学教室HP:

(心理学コース専任教員の紹介など)

<https://www.wasedapsychology.jp>

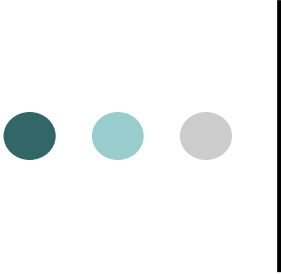
- 文学研究科入試情報HP:

(入学試験要項, 過去問題の案内など)

<http://www.waseda.jp/flas/glas/applicants/>

- 文学研究科HP:

<http://www.waseda.jp/flas/glas/>



全体のコース説明は以上となります

**質問・相談がある方は、このあと個別に
ご対応しますので、お気軽にどうぞ**